



県内経済 〈12月〉

概況

県内経済は、全体として回復の動きが足踏みしている

電子部品、木材の生産は前年を上回ったものの、機械金属は低迷が続いている。建設は、公共工事が前年を上回ったが、住宅着工は前年を下回った。個人消費は全体として緩やかに回復している。雇用情勢は弱い動きとなっている。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、情報通信技術、ハードディスクドライブ市場向けやAI関連の需要増加などから、7か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、ウエイトの高い輸送機械で海外向けは底打ち感がみられるが、国内向けが大きく落ち込み、22か月連続で前年を下回った。木材の生産量は、普通合板（11月）が12か月連続で前年を上回り、製材品も前年を大幅に上回った。公共工事請負額は、2か月ぶりに前年を上回り、年度累計でも前年を上回った。地元大手（12社）の建設受注額は、民間工事が振るわず、2か月連

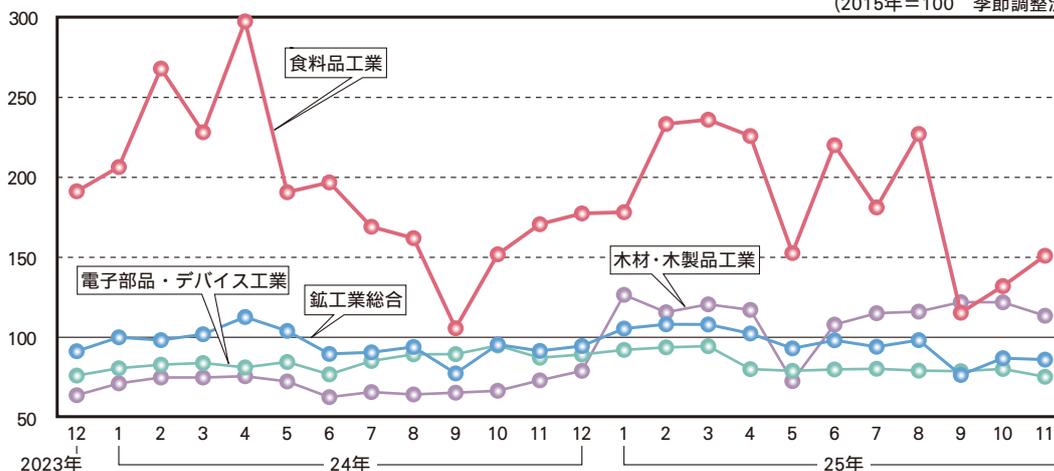
続で前年を下回った。住宅着工は2か月ぶりに前年を下回った。個人消費は、新車乗用車販売台数が8か月連続で前年を下回ったが、小売店販売額（11月）は9か月連続で前年を上回るなど、全体として緩やかに回復している。

有効求人倍率は前月比0.01ポイント低下の1.19倍となった。新規求人数は前年比3.3%増と3か月ぶりに前年を上回った。事業主都合離職者数は前年比12.0%減と3か月連続で前年を下回った。

企業倒産件数は3件、負債総額は4億900万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2015年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

電子部品

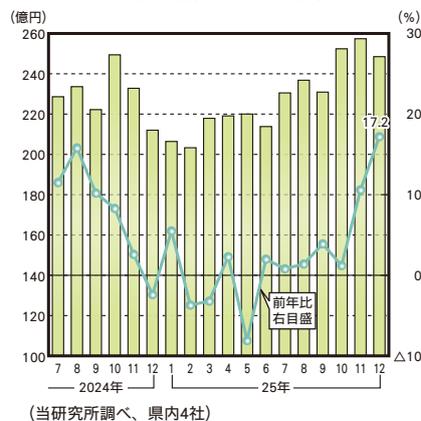
生産額、高水準続く

12月の生産額は前年比17.2%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。

車載向けは減少傾向が続いているものの、情報通信技術（ICT）やハードディスクドライブ（HDD）市場が好調なことに加え、AI（人工知能）関連の需要も伸びてきていることから、総体では高水準で推移している。その他品目別では、主力のセラミックコンデンサやコイルは増勢が続いており、液晶パネル、半導体素子も堅調に推移している。

なお、10-12月期は前年同期比9.3%増、2025年通期は同2.4%増となった。

電子部品の生産額推移



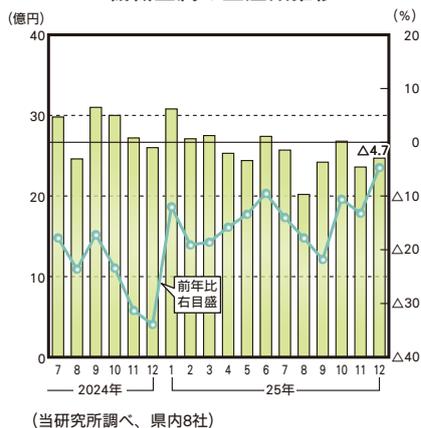
機械金属

生産額、低迷続く

12月の生産額は前年比4.7%減となり、22か月連続で前年実績を下回った。

ウエイトの高い輸送機械は、減少傾向だった海外向けに底打ち感が見られるものの、一部メーカーの生産終了車両の影響が大きい国内向けの減少幅が大きく、総体では低迷が続いている。その他民需関連では、産業機械、建機部品とも減少が続いており、金型は一進一退の動きとなっている。公共工事関連では、橋梁・鉄骨は堅調に推移しており、減少が続いていた水道部品は増加に転じている。なお、10-12月期は前年同期比9.6%減、2025年通期は同14.4%減となった。

機械金属の生産額推移



木材業

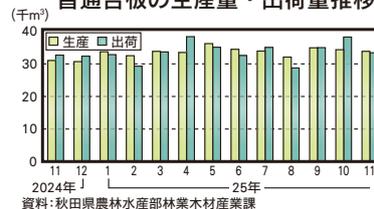
普通合板が12か月連続で前年比増加

新設住宅着工の低迷による需要不足から、全国的には木材・木製品の生産・出荷量の伸び悩みが続いているが、本県では県内大手の増産と県北の大型製材工場稼働により、製材の供給増加が続いている。

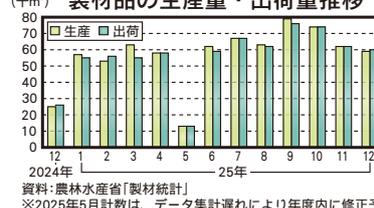
11月の普通合板は、流通段階での在庫調整が進んだことなどにより、生産量は前年比9.1%増、出荷量も同2.2%増といずれも12か月連続で前年を上回った。

12月の製材品は、県北での大手製材工場稼働の影響等から、生産量が前年比136.0%増、出荷量が同130.8%増と、ともに前年を大幅に上回った。

普通合板の生産量・出荷量推移



製材品の生産量・出荷量推移



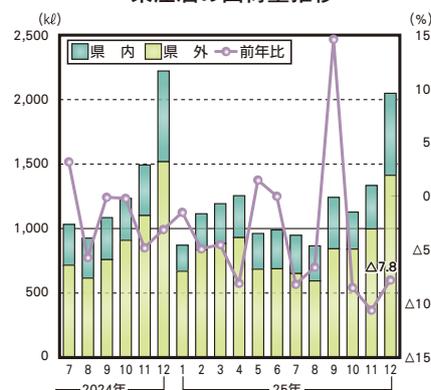
資料：農林水産省「製材統計」
※2025年5月計数は、データ集計遅れにより年度内に修正予定

酒造業

出荷量、3か月連続で前年比減少

12月の清酒出荷量は、前年比7.8%減となった。10月に一部メーカーで価格を引き上げた影響から、3か月連続で前年を下回った。出荷先別では、県内向けは同9.8%減、県外向けも同6.9%減となった。県外の主な出荷先別では、東京は同15.5%増、北海道も同20.1%増となったが、東北5県が同7.6%減となったほか、その他も同28.1%減と前年を大幅に下回った。種類別では、普通酒は同9.4%減、特定名称酒も同6.3%減となった。特定名称酒の内訳では、吟醸酒が同5.9%減、純米酒は同6.5%減、本醸造酒も同7.7%減となった。2025年の年間清酒出荷量は前年比4.4%減となった。

県産酒の出荷量推移



資料：秋田県酒造組合

建設業

公共工事 国、市町村が増加し前年を上回る

12月の公共工事請負金額は、国、市町村等が増加し、総体では前年比68.2%増と2か月ぶりに前年を上回った。4月からの年度累計実績は前年同期比13.6%増となった。一方、当研究所調査による地元大手12社の12月の新規受注額は、前年比31.6%減の755百万円となり2か月連続で前年を下回った。うち官公庁工事は、インフラ設備建築や道路改良の大口工事があり、同73.4%増と前年を上回った。民間工事は、大口工事がなく、同87.6%減と前年を下回った。4月からの年度累計実績は、前年同期比47.7%増となった。

公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区分	12月	前年比	4～12月	前年同期比
件数	58	△7.9	1,951	△4.2
請負金額	8,209	68.2	169,273	13.6

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区分	12月	前年比	4～12月	前年同期比
官公庁	666	73.4	25,364	90.6
民間	89	△87.6	3,457	△44.3
合計	755	△31.6	28,821	47.7

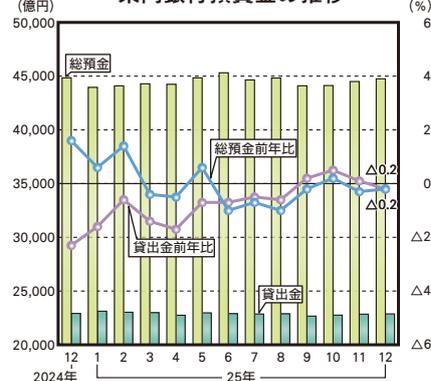
(当研究所調べ、県内12社)

金融

貸出金、4か月ぶりに前年比減少

12月末の県内銀行の預金は、前月末比250億円増加したものの、前年比では0.2%の減少となった。貸出金は、前月末比27億円増加したものの、前年比では0.2%の減少となった。預金は2か月連続で、貸出金は4か月ぶりに前年を下回った。12月の倒産件数（負債総額1千万円以上）は3件（前年比横這い）、負債総額は4億900万円（同359.6%増）となった。2025年の年間倒産件数は63件（前年比6件増）で、4年連続で増加し直近10年間で最多となった。負債総額は79億1,000万円（同80.1%増）となり、負債額10億円を超える大型倒産が1件発生したことなどから2年ぶりに増加した。

県内銀行預貸金の推移



資料：秋田県銀行協会

住宅着工

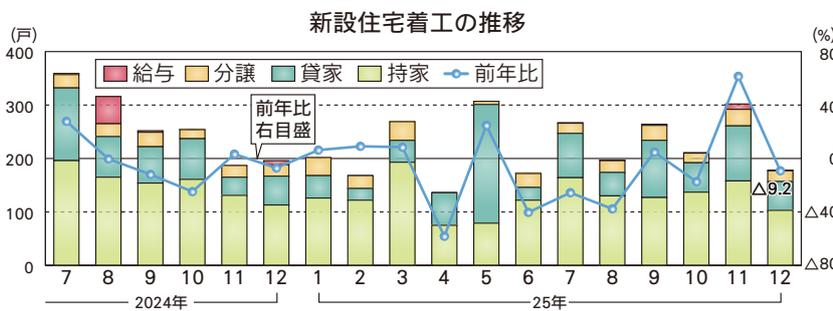
着工戸数、2か月ぶりに前年比減少

12月の県内新設住宅着工戸数は、178戸（前年比18戸減、9.2%減）であった。主力である持家に加え、分譲住宅、給与住宅も減少したため、2か月ぶりに前年を下回った。

利用関係別では、持家が103戸（前年比10戸減）、貸家が54戸（同横這い）、分譲住宅が20戸（同1戸減）、給与住宅が1戸（同7戸減）となった。

2025年通年の県内新設住宅着工戸数は2,674戸（前年比344戸減、11.4%減）となり、3年連続で前年を下回った。

利用関係別では、持家（1,536戸）は4月の建築物省エネ法改正に伴う影響などから減少し、2年ぶりに前年を下回った。一方で、貸家（858戸）は由利地域で大幅に増加し2年ぶりに前年を上回ったほか、分譲住宅（263戸）も3年ぶりに前年を上回った。



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向

(単位：戸、%)

区分	2025年12月		25年1~12月	
	2025年12月	前年比	25年1~12月	前年比
県北	16	Δ46.7	405	Δ30.3
県央	122	0.0	1,736	Δ3.7
県南	40	Δ9.1	533	Δ15.9
合計	178	Δ9.2	2,674	Δ11.4

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

全体として緩やかに回復している

11月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比6.0%増となり、9か月連続で前年を上回った。

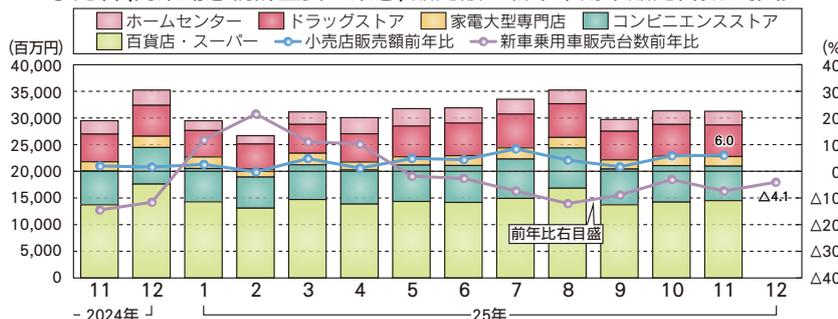
内訳をみると、ドラッグストア（前年比14.6%増）、百貨店・スーパー（同5.7%増）、家電大型専門店（同3.9%増）、コンビニエンスストア（同1.9%増）、ホームセンター（同1.8%増）とすべての業態で前年を上回っ

た。

12月の新車乗用車販売台数は、新型モデル車等の市場投入が少なかったことなどから、前年比4.1%減と8か月連続で前年を下回った。

内訳をみると、登録車が同1.9%減と8か月連続で前年を下回ったほか、軽乗用車も同7.1%減と3か月ぶりに前年を下回った。

小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

12月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	1,922	Δ4.1
登録車	1,108	Δ1.9
普通車	546	Δ19.0
小型車	506	25.2
輸入車	56	9.8
軽乗用車	814	Δ7.1

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標 (前年比) (単位：%)

区分	2025年9月	10月	11月
①消費者物価指数	2.3	2.8	2.8
②勤労者名目賃金	3.1	2.0	2.1

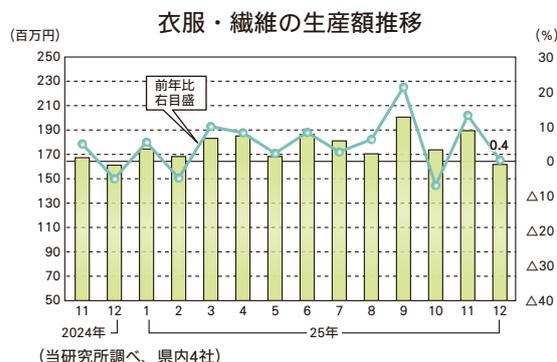
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、2か月連続で前年比増加

12月の生産額は、春夏物が堅調に推移したことなどから、前年比0.4%増と2か月連続で前年を上回った。

受注は、カジュアル系紳士服などが増加し、2か月連続で前年を上回った。3月の最低賃金引上げを控え、メーカーとの工賃引上げ交渉が急務となっている。



雇用

弱い動き

12月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.01ポイント低下の1.19倍となった。常用の内訳では、一般は同0.04ポイント上昇の1.45倍、パートは同0.03ポイント低下の0.82倍となった。

新規求人数は前年比3.3%増となり、3か月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、製造業は同6.3%増となった。「食料品」「金属製品」などで減少したものの、「電子部品・デバイス・電子回路」「繊維」「木材・木製品」で一部企業の受注増にともない増加した。非製造業は同2.9%増となった。「医療、福祉」「宿泊、飲食サービス」で減

少したものの、「サービス業」で一部の労働者派遣業から大口求人があったほか、「運輸、郵便」のうち貨物・旅客運送業で新たな事業展開や営業所の新設などにより増加した。

新規求職者数は前年比0.7%増となり、3か月ぶりに前年を上回った。

事業主都合離職者数は前年比12.0%減となり、3か月連続で前年を下回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県北で減少したものの、県央、県南で増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.35倍、県央が1.21倍、県南が1.05倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

区分	2025年11月		12月		
	前年比	前年比	前年比	前年比	
新規求人計	5,995	△6.7	6,532	3.3	
製造業	645	△12.2	807	6.3	
主要業種の内訳	食料品	85	△21.3	102	△9.7
	繊維	97	2.1	168	19.1
	木材・木製品	22	△8.3	62	47.6
	金属製品	49	11.4	71	△9.0
	電子部品・デバイス・電子回路	128	3.2	100	35.1
	電気機械器具	29	26.1	39	△38.1
	非製造業	5,350	△6.0	5,725	2.9
	建設	820	△10.1	1,055	0.2
	運輸、郵便	374	42.2	312	19.1
	卸売、小売	815	△9.2	710	4.4
宿泊、飲食サービス	379	△0.3	369	△4.4	
生活関連サービス、娯楽	207	47.9	159	7.4	
教育、学習支援	66	△40.5	113	29.9	
医療、福祉	1,257	△7.8	1,353	△2.2	
サービス	840	△13.0	916	10.8	
新規求職者数	2,901	△6.7	3,465	0.7	
有効求職者数	14,774	2.2	14,788	1.6	

資料：秋田労働局職業安定課
(注) 臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

区分	2025年9月 10月 11月 12月				
	前年比	前年比	前年比	前年比	
有効求人倍率	一般	1.42	1.40	1.41	1.45
	パートタイム	0.86	0.85	0.85	0.82
	全数(季調値)	1.21	1.20	1.20	1.19
事業主都合離職者数	152	168	100	294	
前年比	18.8	△12.5	△22.5	△12.0	

12月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

区分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比	前年比	前月比	前月比
県北	1,509	△1.9	1.35	0.01
県央	2,736	3.6	1.21	0.02
県南	1,400	9.7	1.05	△0.01
合計	5,645	3.4	1.20	0.01

(注) 臨時・季節を除く